

1

説明的文章(1)

【指導のポイント】

◆指導ページ P.2～5◆

- ★指示語は直前の内容を指していることが多いということを捉えさせる。
- ★接続語を意識して文と文とのつながりを捉えさせる。
- ★繰り返し話題に出る単語は本文の内容をつかむ重要な手がかりになることを捉えさせる。

問題番号	ページ	演習問題	指導内容・留意事項など
(1)	(P4)	「勘違いしている」のは、直前の「このところ」が指す内容である。直前の文を指していることを読み取らせた上で、どのように勘違いしているのかを捉えさせる。 「勘違いしている」↓低温中で細菌は死ぬ ⇔ このところ ↓「低温中で細菌が死ぬわけではない」 「内容をとらえ直そう」で確認した箇所である。「細菌が増える」ということと空欄の前後の表現を手がかりに似た箇所を探させる。 9・10行目に注目。 指示語は直前の内容を指すことが多いので、直前の文に注目する。 「正しく認識してもらいたい」⇨認識していない	
(2)	(P5)	「冷蔵は、その間だけ増殖を止めているだけだ」 ↓ 「冷蔵庫内なら大丈夫だと誤解	
(3)	(3)	文頭の「ですから」は順接の接続語で、前の事柄を理由として後に結論を述べる役割を果たす。よって、——線④以前から、空欄の前後の表現を手がかりに「加熱して食べ」とよい理由を探させる。18行目に注目。 加熱が消毒に有効であると述べた筆者が、——線⑤直後の26・27行目で加熱時の「注意」したい点を付け加えている。「電子レンジによる加熱」は、一般には「殺菌の役にはほとんど立たない」と述べている。	
(4)	(4)	指示語の指す内容を捉えさせる問題なので、——線⑥の直前の文に注目させる。指示語にあてはめて文意が通るかどうかを確かめさせる。 選択肢と本文を丁寧に照合させる。アは28・29行目に「古くなった食べ物には注意」とあり、ウは(4)で見たように24行目に、オは36・37行目に「体力に頼って無茶をしていては、そのうちガツンとやられてしまう」とある。	
(5)	(5)		
(6)	(6)		
(7)	(7)		

重要語句

- 原則⇨ものごとの根本となる決まりごと。
- 認識⇨ものごとを知り、意味・内容を理解すること。
- 対流⇨空気や水などがその流れで熱などを運ぶこと。
- 論外⇨言うまでもなく、わかりきっていること。

2

説明的文章(2)

【指導のポイント】

◆指導ページ P.6～9◆

- ★話題の中心になっている事柄をおさえ、文脈を捉えさせる。
- ★指示語が示す内容を的確に捉えさせる。
- ★文章全体の内容を捉え、筆者の考えを読み取らせる。

問題番号	ページ	演習問題	指導内容・留意事項など
(1)	(P8)	文脈から、空欄には「たった一個でも」「混じっていると……叱られ」てしまうものが入ることを捉えさせる。また、直前の二つの段落で「不良品」の選別の厳しさについて述べられていることに注目し、空欄にあてはめて確認させる。 気が遠くなる⇨とても驚いて頭がぼうっとなること。 筆者が何に驚いたのかを直前の文から読み取らせる。 ——線②の「一分間に四十個から六十個」という表現と対応した表現を【】の中から探させる。 直前の酒徳さんの発言を受けて、筆者は、ネジとたまごが似ていると言ったことを捉えさせる。 たまご⇨「物価の優等生」 = 値段が高くなることはない	
(2)	(P9)	ネジ⇨値段が「ずっと据え置き」 物価が上がっても、ネジの値段は高くなるらない	
(3)	(3)	「内容をとらえ直そう」で確認した箇所である。指示語が指している内容に指示語が含まれる場合は、その内容を明らかにすることが必要。 そう思う人 =	
(4)	(4)	そんな仕事は、味気ないのではないか。 =	
(5)	(5)	機械の手だすけをする補助労働 「現われる」という言葉を手がかりに、28行目の筆者の発言から書きぬく。 「恥」という言葉に注目し、指示語が指す内容を明らかにしながら遡って確認させる。 恥だと思ふ男 =	
(6)	(6)	こんなもの納めたら恥ずかしいという男 =	
(7)	(7)	不良でこそないけれど、ちょっと仕上がりが悪い(ネジ) 最終段落の「そのこと」が、「美しいネジを作る努力をしている」人がいることを指すことを捉えさせる。	
(8)	(8)		

重要語句

- 物価の優等生⇨物価が上がっても値段が上らないもの。

3

文学的文章(1)

【指導のポイント】

◆指導ページ P.10～13◆

- ★登場人物の気持ちが書かれているところに注目し、それぞれの気持ちを具体的に捉えさせる。
- ★順を追ってできごとを捉え、場面の様子を把握させる。
- ★登場人物の行動の理由を読み取らせ、その時の気持ちを想像させる。

問題番号	ページ	演習問題	指導内容・留意事項など
(1)	(P12)	まず、場面の様子を正しく捉えさせる。 エス↓土間 ノンちゃん 「おなじ意見」⇨ノンちゃんの意見とおなじ	「おなじ意見」⇨ノンちゃんの意見とおなじ 空欄の前後の言葉を手がかりにし、6・7行目に注目させる。 「内容をとらえ直そう」で確認した箇所である。ノンちゃんは、10行目のおかあさんの言ったことに従って、エスを追いだしたことを読み取らせる。
(2)	(P13)	登場人物の行動の理由は、その行動に関する記述の近くにあることが多いので、できごとと行動、気持ちのつながりを捉えさせる。 「内容をとらえ直そう」で確認した箇所である。 あんまりいそいで戸をしめたので理由を表す ←「から」「ため」なども エスのしつぽを……はさんでしまいました 理由を答えるので、「ので」までを含めて書きぬかせる。	登場人物の行動の理由は、その行動に関する記述の近くにあることが多いので、できごとと行動、気持ちのつながりを捉えさせる。 「内容をとらえ直そう」で確認した箇所である。 あんまりいそいで戸をしめたので理由を表す ←「から」「ため」なども エスのしつぽを……はさんでしまいました 理由を答えるので、「ので」までを含めて書きぬかせる。
(3)		「内容をとらえ直そう」で確認したことから、にいちちゃんがおこっている理由を捉えさせる。空欄の前後の言葉を手がかりに、同じような内容が書かれている箇所を探させる。 「いたいじゃないか、しつぽなんかはさんで！」	「内容をとらえ直そう」で確認したことから、にいちちゃんがおこっている理由を捉えさせる。空欄の前後の言葉を手がかりに、同じような内容が書かれている箇所を探させる。 「いたいじゃないか、しつぽなんかはさんで！」
(4)		「いちばんいたいこと」 ←「にいちちゃんの気持ち⇨エスがかわいそう」	「いちばんいたいこと」 ←「にいちちゃんの気持ち⇨エスがかわいそう」
(5)		「内容をとらえ直そう」が生かせる問題。——線⑤より前で、お母さんが何を聞き出したのかを捉えさせる。 27行目の「きさまのしつぽ……ひっこぬいてやる」というにいちちゃんの発言に注目。 「きさま」⇨ノンちゃん⇨人間⇨しつぽがない	「内容をとらえ直そう」が生かせる問題。——線⑤より前で、お母さんが何を聞き出したのかを捉えさせる。 27行目の「きさまのしつぽ……ひっこぬいてやる」というにいちちゃんの発言に注目。 「きさま」⇨ノンちゃん⇨人間⇨しつぽがない
(6)		選択肢を本文と丁寧に照合させる。アは17・18行目、エは35・36行目に書かれている内容と合致する。	選択肢を本文と丁寧に照合させる。アは17・18行目、エは35・36行目に書かれている内容と合致する。

重要語句

- 空気がやぶれる⇨その場の雰囲気が変われる。
- 威厳⇨堂々としていておごりかな様子。

4

文学的文章(2)

【指導のポイント】

◆指導ページ P.14～17◆

- ★登場人物の人物像とそれぞれの関係について、正確に把握させる。
- ★行動や会話文から、登場人物の気持ちを想像することができるようにする。
- ★指示語が指す内容を的確に捉えさせる。

問題番号	ページ	演習問題	指導内容・留意事項など
(1)	(P16)	「内容をとらえ直そう」でまとめた人物像とその関係を確認させる。(注)も人物像を捉える上で大切であると指導する。 15行目に「父さんが言った」とある。 俺⇨新二⇨高校の陸上部員。リレーのメンバー。 健ちゃん⇨兄貴⇨「俺」の兄。 父さん⇨「俺」と「健ちゃん」の父親。 登場人物 (連)「俺」の友人。「俺」の心の中に登場している 会話文の中の指示語が指す内容は、それより前の会話文の中から探す。	「内容をとらえ直そう」でまとめた人物像とその関係を確認させる。(注)も人物像を捉える上で大切であると指導する。 15行目に「父さんが言った」とある。 俺⇨新二⇨高校の陸上部員。リレーのメンバー。 健ちゃん⇨兄貴⇨「俺」の兄。 父さん⇨「俺」と「健ちゃん」の父親。 登場人物 (連)「俺」の友人。「俺」の心の中に登場している 会話文の中の指示語が指す内容は、それより前の会話文の中から探す。
(2)		「健ちゃんの質問」⇨「インターハイ、行ける?」 「俺の答え」⇨「行けない」 ⇨「俺の答え」⇨「まだ、……そんなレベルじゃない。」	「健ちゃんの質問」⇨「インターハイ、行ける?」 「俺の答え」⇨「行けない」 ⇨「俺の答え」⇨「まだ、……そんなレベルじゃない。」
(3)	(P17)	「文章の流れをつかもう」で整理した文脈を確認させる。 行動の理由は、すぐ近くにあることが多い。ここでも、——線②のあとの部分(11～13行目)に注目させる。 リレー⇨四人で走る種目 ← ダメと言う⇨自分以外の三人の可能性を否定してしまう 20～22行目に注目し、健ちゃんがきつい声を出した理由を捉えさせる。 父さん「新二は足速いもんな」 ⇨ 俺「ぜんぜん」⇨「謙遜」し、「自分を低く見積る」	「文章の流れをつかもう」で整理した文脈を確認させる。 行動の理由は、すぐ近くにあることが多い。ここでも、——線②のあとの部分(11～13行目)に注目させる。 リレー⇨四人で走る種目 ← ダメと言う⇨自分以外の三人の可能性を否定してしまう 20～22行目に注目し、健ちゃんがきつい声を出した理由を捉えさせる。 父さん「新二は足速いもんな」 ⇨ 俺「ぜんぜん」⇨「謙遜」し、「自分を低く見積る」
(4)		勝つためにはどのくらいでなければならぬのかを考え、「を言うくらい」に続くことをヒントに読み取らせる。 ①「夢は?」という質問に対する「俺」の答え。 ②(注)から、連は足が速いということを捉えさせる。 37・38行目に注目し、気持ちがわかる表現を書きぬかせる。 「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。	勝つためにはどのくらいでなければならぬのかを考え、「を言うくらい」に続くことをヒントに読み取らせる。 ①「夢は?」という質問に対する「俺」の答え。 ②(注)から、連は足が速いということを捉えさせる。 37・38行目に注目し、気持ちがわかる表現を書きぬかせる。 「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。
(5)		「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。	「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。
(6)		「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。	「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。
(7)		「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。	「内容をとらえ直そう」でまとめた内容を生かす。23・24行目、39～42行目に注目させる。「俺」は健ちゃんに対して、好意的で尊敬の念を抱いていることに気付かせる。

重要語句

- 動揺⇨気持ちが不安定になること。
- インターハイ⇨全国高等学校総合体育大会。
- 見積る⇨心積りではかって見当をつけること。